

2026/27 ショートトラック国際競技会派遣選手選考基準

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

- (1) 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
- (2) JSF 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

- (1) 国際スケート連盟(ISU)およびその他の主催団体によって以下の通り制限される。
 - ① ISU およびその他の主催団体による各国際競技会への日本の出場可能人数
 - ② ISU による年齢制限 (ISU Competition and Event Regulations 第 9 条 2 項)
 - ③ ISU による参加標準記録
- (2) 日本スケート連盟による派遣標準記録(別紙)を設定し、条件を満たした選手を派遣対象とする。

【特記事項】

- (1) ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- (2) 個人種目へのエントリーは、対象競技会における各距離の成績を尊重するが、選手の適性を考慮して当該年度の JOC ハイパフォーマンスティレクター、ショートトラック強化部長及び当該大会に関連した強化カテゴリーの強化責任者(以下、この 3 名を「エントリー検討メンバー」という)の協議によって、編成方針を踏まえた総合的な検討のうえ決定する。エントリー検討メンバー内で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。
- (3) チーム種目へのエントリーは、日本代表選手団のチームリーダーを中心に、当該競技会に派遣されたコーチングスタッフによって、編成方針を踏まえて総合的に検討し決定する。ここで意見の一致に至らなかった場合は、エントリー検討メンバーの協議により決定する。エントリー検討メンバー内で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。
- (4) 本選考基準において、エントリー検討メンバーの協議で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者(選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く)の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- (5) 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討し、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と変更することができる。

1. 2026/27 ショートトラックワールドツアー第1戦～第5戦

【開催場所、期間】

第1戦:カナダ(バンクーバー)、2026年10月23日～10月25日

第2戦:カナダ(モントリオール)、2026年10月30日～11月1日

第3戦:韓国(ソウル)、2026年11月20日～11月22日

第4戦:中国(上海)、2026年11月27日～11月29日

第5戦:中国(北京)、2026年12月4日～12月6日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各5名(合計最大10名)

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2009年6月30日以前に生まれた者(ISU Competition and Event Regulations 第9条2項)とする。

対象競技会:

- ・ 第37回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2026年10月3日～10月4日)

男女最大各5名の正選手及び最大各5名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(2)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) 対象競技会において、各距離で第1位の者を選考する。
- (3) 次に、上記(2)で選考された選手を除き、対象競技会における500m及び1000mの上位者から順に、(2)で選考された選手と合わせて男女それぞれ5名になるまで選考する。5番目の選手が複数いる場合は、対象競技会における500mのベストタイムが速い者を優先する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された正選手を除き、(3)と同様の方法で男女それぞれ最大5名を補欠選手として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手は、ワールドツアー第1戦～第5戦と、ジュニアワールドカップ第1戦のいずれかを選択するものとする。

- ・ ワールドツアー第1戦～第2戦に選考された選手のうち、第33回ユニバーシアード冬季競技大会(2027/長春)への参加資格を持ち、参加を希望した場合は、男女最大それぞれ3名をユニバーシアード日本代表選手として内定する。参加希望者が4名以上となったときは、より上位で選考された者を優先し、第4番目以降の参加希望者は、第33回ユニバーシアード冬季競技大会(2027/長春)ショートトラックスピードスケート日本代表選手選考競技会に参加するか、ワールドツアー第1戦～第2戦に参加するかを選択するものとする。

2. 2026/27 ショートトラックワールドツアー第6戦～第7戦

【開催場所、期間】

第6戦:ポーランド(グダニスク)、2027年2月5日～2月7日

第7戦:オランダ(ティルブルフ)、2027年2月12日～2月14日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各5名(合計最大10名)

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2009年6月30日以前に生まれた者(ISU Competition and Event Regulations 第9条2項)とする。

対象競技会:

- ① 第37回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2026年10月3日～10月4日)
- ② 第49回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2027年1月10日～1月11日)

男女最大各5名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会②に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(2)となった者が、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。
- (2) 対象競技会における各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与する。それぞれの距離において、2大会の合計ポイントが最も大きい選手を選考する。合計ポイントが同じ場合は、対象競技会②の獲

得ポイントが大きい選手を優先する。

- (3) 次に、上記(2)で選考された選手を除き、500m 及び 1000m の合計ポイントが最も大きい選手から順に、(2)で選考された選手と合わせて男女それぞれ 5 名になるまで選考する。5 番目の選手が複数いる場合は、対象競技会 2 大会における 500m のベストタイムが速い者を優先する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された正選手を除き、(3)と同様の方法で男女それぞれ最大 3 名を補欠選手として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

3. 世界ショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

韓国(ソウル)、2027 年 3 月 12 日～3 月 14 日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女各 3 又は 5 名(合計最大 10 名)

※ISU より、後日通知される内容による。

※リレー出場権はワールドツアーでの最終ランキングにより決定される(この出場権を得た場合、男女それぞれ最大 5 名の派遣が可能となる)。

【枠数】

男子:500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、5000m リレー(1)※

女子:500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、3000m リレー(1)※

男女混合:ミックスチーム 2000m リレー(1)※

※リレー種目の出場権は、ワールドツアーでの最終ランキングにより決定される。

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2009 年 6 月 30 日以前に生まれた者(ISU Competition and Event Regulations 第 9 条 2 項)とする。

対象競技会:

- ① 第 37 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2026 年 10 月 3 日～10 月 4 日)
- ② 第 49 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2027 年 1 月 10 日～1 月 11 日)

男女最大各 5 名の正選手及び最大各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会②に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。ただし、以下の(2)となった者が、上記タイムトライアルに

参加したものの派遣標準記録をクリアしていなかった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、基準を満たした場合は選考対象に含める。

- (2) 対象競技会における各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与する。それぞれの距離において、2 大会の合計ポイントが最も大きい選手を選考する。合計ポイントが同じ場合は、対象競技会②の獲得ポイントが大きい選手を優先する。
- (3) 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合、男子又は女子それぞれ 3 名の正選手は、上記(2)で選考された選手を除き、500m 及び 1000m の合計ポイントが最も大きい選手から順に、(2)で選考された選手と合わせて男女それぞれ 3 名になるまで選考する。3 番目の選手が複数いる場合は、対象競技会 2 大会における 500m のベストタイムが速い者を優先する。
- (4) 男子又は女子リレーの出場枠が配分された場合、男子又は女子それぞれ 5 名の正選手は、上記(2)で選考された選手を除き、500m 及び 1000m の合計ポイントが最も大きい選手から順に、(2)で選考された選手と合わせて男女それぞれ 5 名になるまで選考する。5 番目の選手が複数いる場合は、対象競技会 2 大会における 500m のベストタイムが速い者を優先する。
- (5) 上記(2)および(3)又は(4)で選考された正選手を除き、(3)又は(4)と同様の方法で男女それぞれ最大 3 名を補欠選手として選考する。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 本大会において、いずれかの個人種目で 3 位以内となった選手は、男女それぞれ最大 3 名を上限として、2027/28 シーズンのショートトラックワールドツアー第 1 戦～第 5 戦の日本代表正選手として選考する。男子又は女子において、4 名以上の対象者がいる場合には、より上位者を優先する。ここまでで優劣が決しない場合は本大会における 2 距離目の距離別順位を比較し、さらに優劣が決しない場合は強化部委員会の協議によって選考する。

4. ジュニアワールドカップ第1戦

【開催場所、期間】

ジュニアワールドカップ第1戦:イタリア(ボルミオ)、2026年11月6日～11月8日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名(合計最大8名)

【枠数】

男子:500m(2)、1000m①(2)、1000m②(2)、1500m(2)、3000mリレー(1)

女子:500m(2)、1000m①(2)、1000m②(2)、1500m(2)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

※

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2007年7月1日から2011年6月30日までに生まれた者(ISU Competition and Event Regulations 第9条2項)とする。

対象競技会:

- ・ 第37回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2026年10月3日～10月4日)

男女各4名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会において、対象年齢の選手による距離別順位リストを作成する。
- (2) (1)のリストにおいて、各距離で最上位の選手を選考する。
- (3) 次に、各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、対象競技会で実施される3距離で獲得したポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、(2)で選考された選手と合わせて男女それぞれ4名になるまで選考する。合計ポイントが同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先する。ここまでの比較でも優劣がつけられない場合は、対象年齢に限定しない距離別順位リストの上位者を優先する。
- (4) 上記(1)から(3)で選考された正選手を除き、(3)と同様の方法で男女それぞれ3名を補欠選手として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手は、ワールドツアー第1戦～第5戦と、ジュニアワールドカップ第1戦のいずれかを選択するものとする。

5. ジュニアワールドカップ第3戦

【開催場所、期間】

ジュニアワールドカップ第3戦:カザフスタン(アスタナ)、2027年1月22日～1月24日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各5名(合計最大10名)

【枠数】

男子:500m(2または3)、1000m(2または3)、1500m①(2または3)、1500m②(2または3)、3000mリレー(1)

女子:500m(2または3)、1000m(2または3)、1500m①(2または3)、1500m②(2または3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2007年7月1日から2011年6月30日までに生まれた者(ISU Competition and Event Regulations 第9条2項)とする。

対象競技会:

- ・ 第46回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(東京都江東区、2026年12月12日～12月13日)

男女各5名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会において、各距離で第1位の選手を選考する。
- (2) 次に、各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、対象競技会で実施される3距離で獲得したポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、上記(1)で選考された選手と合わせて男女それぞれ5名になるまで選考する。合計ポイントが同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先する。
- (3) 上記(1)および(2)で選考された正選手を除き、(2)と同様の方法で男女それぞれ3名を補欠選手として選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 第33回ユニバーシアード冬季競技大会(2027/長春)に参加する選手は、ジュニアワールドカップ第3戦および世界ジュニアショートトラック選手権大会には選考しない。

6. 世界ジュニアショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

カザフスタン(アスタナ)、2027 年 1 月 28 日～1 月 31 日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各 5 名(合計最大 10 名)

※ISU より、後日通知される内容による。

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

男女混合:ミックスチーム 2000m リレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2007 年 7 月 1 日から 2011 年 6 月 30 日までに生まれた者 (ISU Competition and Event Regulations 第 9 条 2 項)とする。

対象競技会:

- ・ 第 46 回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(東京都江東区、2026 年 12 月 12 日～12 月 13 日)

男女各 5 名の正選手及び各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会において、各距離で第 1 位の選手を選考する。
 - (2) 次に、各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、対象競技会で実施される 3 距離で獲得したポイントのうち、大きいポイント 2 つの合計ポイントの上位者から、上記(1)で選考された選手と合わせて男女それぞれ 5 名になるまで選考する。合計ポイントが同点の場合は 1 距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3 距離目のポイントが大きい選手を優先する。
 - (3) 上記(1)および(2)で選考された正選手を除き、(2)と同様の方法で男女それぞれ 3 名を補欠選手として選考する。
- (1) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会(2027/長春)に参加する選手は、ジュニアワールドカップ第 3 戦および世界ジュニアショートトラック選手権大会には選考しない。

7. 第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会(2027／長春)

【開催場所、期間】

中国(長春)、2027 年 1 月 15 日～1 月 25 日(ショートトラック競技は 1 月 22 日～1 月 24 日)

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女各 6 名(合計 12 名)

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000m リレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

男女混合:ミックスチーム 2000m リレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 現在、大学又はそれに準ずる教育機関(短大、大学院等を含む)に在籍している者、あるいは 2026 年 1 月 1 日以降に大学又はそれに準ずる機関を卒業した者で、1999 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日の間に生まれた者とする。

対象競技会:

- ① 第 37 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2026 年 10 月 3 日～10 月 4 日)
- ② 第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会(2027／長春)ショートトラックスピードスケート日本代表選手選考競技会(長野県南佐久郡南牧村、2026 年 10 月 31 日～11 月 1 日)

男女各 6 名の正選手及び各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象選手の中で、ワールドツアー第 1 戦～第 2 戦の日本代表正選手となった者のうち、第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会(2027／長春)(以下「ユニバーシアード」という)へ参加を希望する場合は、男女最大各 3 名までをユニバーシアード日本代表選手として内定する(参加希望者が 4 名以上となったときは、より上位で選考された者を優先する)。当該選手は、対象競技会②への参加を免除する。
- (2) 次に、対象競技会②で実施される各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、3 距離で獲得したポイントのうち、大きいポイント 2 つの合計ポイントの上位者から、上記(1)で選考された選手と合わせて男女それぞれ 6 名になるまで選考する。合計ポイントが同点の場合は 1 距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3 距離目のポイントが大きい選手を優先する。
- (3) 上記(1)および(2)で選考された正選手を除き、(2)と同様の方法で男女それぞれ 3 名を補欠選手として選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会(2027／長春)に参加する選手は、ジュニアワールドカップ第 3 戦および世界ジュニアショートトラック選手権大会には選考しない。

2026/27 ショートトラック国際競技会派遣選手選考用順位ポイント表

(公財)日本スケート連盟
ショートトラック強化部

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	1000	16	35	31	14
2	800	17	28	32	13
3	640	18	27	33	12
4	512	19	26	34	11
5	410	20	25	35	10
6	328	21	24	36	9
7	262	22	23	37	8
8	210	23	22	38	7
9	168	24	21	39	6
10	134	25	20	40	5
11	107	26	19	41	4
12	86	27	18	42	3
13	69	28	17	43	2
14	55	29	16	44	1
15	44	30	15	others	1

※ 複数の選手が同順位の場合は、当該順位のポイントをそれぞれに付与する。(例:第 30 位に 3 名いる場合はそれぞれに 15 点を付与し、第 33 位には 12 点が付与される)

※ 最初のラウンドで PEN を科された場合は出場人数+1 の順位ポイントを付与する。

※ YC, RC を科された場合は当該距離のポイントは付与されない。

2026/27 ショートトラック国際競技会派遣標準記録

(公財)日本スケート連盟
ショートトラック強化部

性別	距離	派遣標準記録
女子	2.5 周	25.213
	9 周	1:31.570
男子	2.5 周	23.888
	9 周	1:26.098

- ※ 適用対象となる国際競技会は、2026/27 シーズンの世界ショートトラック選手権大会、ワールドツアー第1戦～第7戦とする。タイムトライアルの実施要項は、別途ショートトラック強化メーリングリストを通じて配信する。
- ※ いずれかの距離で上記の標準記録以内のタイムで滑走すれば、条件を満たすものとし、2027年3月31日まで有効とする。
- ※ 上記派遣標準記録は、以下に示す4回のショートトラック強化部主催タイムトライアルで記録される必要がある。
- ・ 2026年9月27日(日)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
 - ・ 2026年9月30日(水)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
 - ・ 2026年10月1日(木)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
 - ・ 2027年1月7日(木)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
- ※ 2014/15～2025/26 シーズンのワールドカップ(ワールドツアー)の結果をもとに、Heats を2位以内でクリアし、次のラウンドに進出した選手のタイムの中央値を直線回帰で外挿して2026/27 シーズンの予測値を算出した(Calgary, SLC などの高地のレース、転倒などで極端に遅かったレースは除外して計算)。2.5 周は、同様の方法で500mにおける2.5周通過時の記録をもとに予測値を算出した。